

## 1.本園の理念、教育・保育目標

◎子ども1人1人を大切にし、保護者から信頼され地域に愛される教育・保育をめざす

○未来を担う子どもたちの豊かな人間性を育てる

・心身ともに健康な子どもを育てる      ・思いやりのある子どもを育てる      ・自分で考え行動する子どもを育てる

## 2.本年度に取り組む重点事項

◎職員一人ひとりが目標を持ち(教育・保育の中で大切にしている視点)、達成に向けて教育・保育の環境づくりに主体的に取り組む

◎職員のチームワークづくり(お互いの思いを伝えあいながら、連携を深めていく)

## 3.評価項目の達成及び取り組み内容と評価

評価項目	取組内容	取組状況	評価	来年度に向けての課題
教育・保育課程	教育・保育課程の編成・実施に関して職員間の共通理解をはかる。	教育・保育課程を可視化し、保育日誌等に添付している。 職員会議等と一緒に暗唱するなど確認している。	B	内容の理解を引き続き深めていくと共に実施に関して、職員間の共通理解をはかっていく。
発達過程に応じた教育・保育	未満児クラス・以上児クラスの運営の成果と課題を報告する。	毎月、運営成果と課題を報告し合い、運営の改善を目指した。	B	各年齢の現状を正しく捉え、特徴や過程、個人差を踏まえて教育・保育をすすめていく。 子どもの主体的な姿を活かす環境作りの幅がまだまだ狭いと思うので、引き続き努力を重ねていく。
研修体制	教育・保育の質向上のために、園内研修を実施し、園外研修にも積極的に参加する。	一人ひとりの職員の質の向上のため各々目標を掲げ可視化することにより、意識を高める環境づくりに努めた。 また、園外研修(対面及びZOOM研修)に参加し、教育・保育の質を高める努力をした。	A	努力が不十分な課題については克服に向けて引き続き研鑽を重ねていく。 ZOOMを使用した研修では、多くの職員が研修できるようにする。 対面研修にも積極的に参加する。
特別支援教育	特別支援教育の理解を深め、該当児に個別の配慮をしながら、発達の支援をする。 専門機関との密な連携を図る。 家庭との連携を図る。	連携機関の巡回を通して該当児の発達支援について学んだ。 該当児の対応については、連携機関・家庭・園との協働により個別の配慮ができるようにした。	A	該当児はいないが、グレーゾーンの子はいるので引き続き、個別の対応を継続していく。
小学校接続	小学校へのスムーズな接続が図れるような工夫や取り組みを積極的に行う。 幼保小連携研修に参加する。	散歩、小学校行事を通して交流及び情報交換を行った。	B	Withコロナのもと、双方で話し合いにより連携を深めていく。
健康・安全管理	職員の健康・安全管理の意識を強化する。 コロナ禍における衛生安全のための知識や細やかな消毒を日々怠らなく行う。 食育計画の作成と実践を行う。	職員間で連携しながら、衛生管理の徹底を心がけた。感染症に関しては早期対応を行い、即情報を開示し、保護者に伝えた。 子どもたちの様子をみながら、食育計画を実践していく。	B	正しいコロナ対応を知ってもらえるよう可視化して掲示したり、口頭で伝えていく。 コロナ禍で直接子どもの様子を見る機会が少なかったため、保育現場に行く機会を増やし、食育に積極的に取り組む。
職員間の連携	担任外保育教諭間の連携、他種職員との連携を積極的に行う。	行事や日々の教育・保育を通して協働体制を取っている。職員会議等でも話し合いを通して意思疎通を図っている。	B	努力はしているものの全体の意思疎通、情報伝達としてはまだ不十分なところがある。 まずは、各チーム内でしっかり連携が取れるよう意思疎通を図る。
保護者との連携	個人懇談や送迎時での口頭伝達、日々の連絡帳を通してコミュニケーションを図る。 行事や日々の子どもの活動の様子を写真などで伝える。	個人懇談や送迎時での口頭伝達等で悩みを聞き、共有しながら子どもの成長に繋がるよう努力をしている。 ドキュメンテーション等を玄関に掲示し、教育・保育の取り組みを知らせている。	B	日々の保護者とのコミュニケーションの取り方を工夫していく。 ドキュメンテーション等の内容の見直しを行い行事だけではなく、日頃の教育・保育の取り組みも保護者に伝えていく。
地域との連携	地域にある老人ホームや障害者支援施設との交流を図る。 未就園児対象のふれあいひろばを行う。 HP・はがきなどを利用して、行事の案内など園の情報発信を行う。	利用者との直接交流は無かったが、作品交流という新たな交流を行った。 園に遊びに来てもらい、担当職員と一緒に遊んだり、子育ての悩みを聞いたりしている。 毎月HP更新を行い情報開示している。	B	Withコロナのもと安全な交流の仕方を考え、地域の施設と連携をとりながら親睦を深めていく。 過疎化がすすんできているため、地区外への情報発信について考えていく。

A:優れている

B:普通

C:やや努力が必要

D:努力が必要